

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成31年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
31-6	解析学的信号処理によるトンネル等のうき・剥離の高精度・高速検出の研究開発	東京大学 教授 石田 哲也	A
<p><研究の概要></p> <p>空間周波数分析等の解析学的信号処理手法に基づき、移動計測車両に搭載したレーザースキャナで取得される点群情報からトンネル等のコンクリート表層の特徴を捉えることで、うき・剥離を高速かつ正確に検出する技術を開発する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>解析ロジックの確立や実トンネルでのフィールド計測の実施など、計画通り順調に進んでおり、現行の通り推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 今後の研究にあたっては、首都高速道路に限らず、国道の管理者である国との意見交換も実施して管理者ニーズを汲み取り技術開発に反映するなど、全国の道路トンネルの点検実務に本研究の成果が導入できるよう、技術研究開発が進められることを期待する。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。